

SSH だより

vol. 7

令和5年2月7日発行

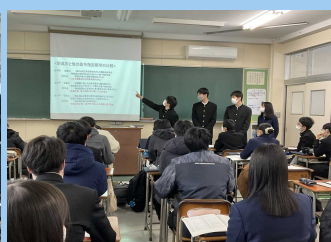
1年間の探究活動の成果を披露

江風探究ユニット発表会

2月1日（水）に1年生の江風探究ユニット発表会を実施しました。当初は昨年12月に予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、この時期に延期しました。江風探究ユニットでは年間で十数時間という限られた時間の中で、生徒たちは班のメンバーと協力しながら新潟市の諸課題に関連したリサーチクエスションと仮説を立て、調査と考察・分析をし、その成果をスライドにまとめました。

昨年度までは体育館で、全員でポスター発表をしていましたが、今年度は体育館で代表発表を行った後、1学年の各教室でGoogleスライドを用いて発表しました。各教室には1～9組から1班ずつ計9班が集まり、「人口減少・子育て」「経済」「食と農」「多様性」のいずれかのテーマについて発表をしました。

部	内容
第1部 第1体育館	開会式・校長挨拶
	代表発表(7A・2J)
	江風グローバル研修(シンガポール)報告
第2部 1年1組 ～9組	各班によるスライドを用いた発表 講評・閉会式



生徒の感想

- 新潟についてこんなに真剣に考えて調べたことは今までなく、探してみると新潟も改善点が多いと感じた。周りのクラスはレベルが高くて緊張したけれど、自分たちの意見が周りに伝わったようで嬉しかった。
- テーマに沿った一貫性が大切だとわかった。また、データを用いるにしても本当に必要なのか、どの考えの根拠にするのかを考えることが重要だと思った。
- 班員と考えが違う中でコミュニケーションをとって一つの発表にまとめるのが難しかった。
- リサーチクエスションを具体的なものにしていくのが難しかった。正解/不正解の判断が出来ない分、不安がとても大きかった。発表において内容はもちろんのこと、話し方(抑揚など)も聞く意欲に大きく関わってくると考えた。
- 調べたり、まとめたりする内容も大事だけど、いつ、誰が、何を、どのように調べるのかなど計画を立てることも大切だと感じた。私は班の人に任せすぎたので、次回のSSHの活動では積極的に参加したい。

来賓・来校者の方々の感想

- グラフの見せ方やどこ・何に注目してほしいか、聞く人のことを意識するとより良い発表になると思います。
- 1年間の探究を通して、どんなことがわかって、さらに何を知りたいのか、今回の発表会を通して再認識できたと思うので、また自分の関心のあるテーマについて探究を続けてほしいと思います。
- リサーチクエスションと仮説の関係性の理解にばらつきがある。問いが Why か How でアプローチが変わってくる。
- 1年生としては良く調べられていると思います。クラス毎で発表したのは、静かに話を聞いて良かったです。
- スライド内の活字数は減らした方が、見やすいです。言葉とポインター等による指示で示した方が、スマートなプレゼンテーションになります。
- 客観的にデータを収集して、裏付けすることを意識すると良いと思います。着想は豊かで、いずれの発表もおもしろかったです。

